

平成30年度

事業計画書

平成30年3月

学校法人 藤村学園

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学

目 次

| | |
|------------------|----|
| 平成30年度事業計画 | 1 |
| I 法人の運営 | 2 |
| II 大学・短期大学の運営 | 5 |
| III 事業の内容 | 6 |
| 1 重点事業の概要 | 6 |
| 2 所管別事業計画 | |
| ○教育改革推進関係事業 | 13 |
| ○事務局関係事業 | 13 |
| ○教務関係事業 | 14 |
| ○教職関係事業 | 15 |
| ○学生支援関係事業 | 16 |
| ○キャリア支援・就職対策関係事業 | 16 |
| ○学生募集・入学試験関係事業 | 17 |
| ○学生・教職員の健康管理関係事業 | 18 |
| ○教育・研究支援関係事業 | 19 |
| ○地域との交流関係事業 | 19 |
| ○図書館の運営関係事業 | 20 |
| ○施設の整備 | 21 |
| ○キャンパス整備計画 | 22 |
| 別紙1 学園組織図 | |
| 別紙2 平成30年度行事予定表 | |

平成 30 年度 事業計画

大学を取り巻く環境は、少子化等の影響により、一段と厳しさを増しており、18 歳人口は、平成 30 年度の 118 万人から平成 36 年には 106 万人に減少することが見込まれています。

しかし、大学における私立の割合は 77.4%、短期大学においては 95%を占めており、それぞれが建学の精神に基づく個性豊かな活動を積極的に展開しています。

本学においては、藤村トヨの建学の精神「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を根底に据え、新たな「知」の創造と活用を通じて、社会や人類の発展に貢献する人材を育成する大学を目指しています。

高度なスポーツ科学や健康科学に関する研究を進め、その理論に裏づけられた実践教育を広く展開することによって、責任を果たしています。

この考えの下、本学は、教員養成機関としてこれまでの成果を検証しつつ、社会の要請に応え、教育の情熱とより高度な専門知識・技能を保有する実践的な指導者を育成していきます。

その使命である教育・研究活動の一層の充実・向上に向けて、弛まぬ努力と創意工夫が求められ、本学においては、教育内容の改善・充実を最重要課題としています。

教育・研究活動を継続していくための経営基盤の安定性の確保と財政収支の均衡を前提に財務計画を推進していきます。

学生及び保護者の信頼を高める教育内容の充実に一層努め、建学の精神に基づき、より魅力ある大学を目指すための改革を進めていきます。

平成 30 年度は、4 月から短期大学児童教育学科に保育士養成課程を設置し、社会のニーズに応えるべく新たな教育を展開していきます。そして平成 34(2022)年に創立 120 周年を迎えることを踏まえ、引き続き教育内容の充実に取り組むとともに、2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催も視野に入れ、事業を展開していきます。本学の魅力を発信する広報活動や将来像としての今後のあり方を検討し、競争の激しい環境の中で存続・発展していくための実効性のある計画を策定し、全学一体となった取り組みを行います。

I 法人の運営

1 理事会等の開催

- (1) 常任理事会 (理事 5人 週1回程度随時開催)
- (2) 理事会 (理事 9人 毎月1回開催)
- (3) 評議員会 (評議員 19人 年3回程度開催)

2 学園組織図 別紙1のとおり

3 役員・評議員・教職員

- (1) 役員
 - ① 理事 9人 ② 監事 2人
- (2) 評議員 19人
- (3) 教職員数
 - ① 教育職員 59人 ② 事務職員 56人

【教職員構成】(平成30年4月1日の予定) (単位:人)

| 教育職員 | | 事務職員 | | | | 非常勤講師 |
|------|----|-------|----|-------|-----|-------|
| 学長 | 1 | 局長 | 1 | 寮生指導員 | 2 | 37 |
| 教授 | 33 | 次長 | 2 | 嘱託員 | 1 | |
| 准教授 | 12 | 課長・主幹 | 13 | 教務補佐員 | 9 | |
| 講師 | 12 | 課長代理 | 0 | | | |
| 助教 | 1 | 係長 | 5 | | | |
| | | 主査 | 3 | 計 ② | 56 | |
| 計 ① | 59 | 課員 | 20 | 総計①+② | 115 | |

4 設置する学校・学部・学科等

理事長 雨宮 忠

- (1) 東京女子体育大学
体育学部・体育学科
学長 浅見 美弥子
- (2) 東京女子体育短期大学
保健体育学科
児童教育学科
学長 浅見 美弥子

【第三者評価機関別認証評価】

| | | |
|------|--------------|------------------|
| 大学 | 平成20年3月19日認証 | 財団法人 日本高等教育評価機構 |
| | 平成27年3月10日認証 | 公益財団法人日本高等教育評価機構 |
| 短期大学 | 平成19年3月22日認証 | 財団法人 短期大学基準協会 |
| | 平成26年3月13日認証 | 一般財団法人 短期大学基準協会 |

5 学部・学科の入学定員

【平成30年度学部学科の入学定員及び収容定員】

(単位：人)

| | | 大 学 体育学部 体育学科 | 短 期 大 学 | | | 総 計 |
|----------|----------|---------------------|------------|------------|-----|-------|
| | | | 保健体育 学科 | 児童教育 学科 | 短大計 | |
| 入学 定員 | 入 学 定 員 | 340 | 50 | 110 | 160 | 500 |
| | 3年次編入学定員 | 40 | | | | 40 |
| 収 容 定 員 | | 1,400 | 130 | 190 | 320 | 1,720 |

6 教育研究上の基本となる組織

| 大学等 | 学部 | 学科 | コース |
|------------|--------|------|-----------------------|
| 東京女子体育大学 | 体育学部 | 体育学科 | コーチング学 体育学 スポーツ健康学 |
| 東京女子体育短期大学 | 保健体育学科 | | |
| | 児童教育学科 | | 幼保 幼小 |

7 授業料等学納金

(単位：円)

| | 項 目 | 大 学 体育学科 | 短 期 大 学 | |
|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| | | | 保健体育学科 | 児童教育学科 |
| 入学時 納入 | 入 学 金 | 300,000 | 230,000 | 230,000 |
| | 授 業 料(前期) | 360,000 | 335,000 | 350,000 |
| | 施設設備費(前期) | 150,000 | 135,000 | 135,000 |
| | 実験実習料 | 30,000 | 25,000 | 30,000 |
| | 計 | 840,000 | 725,000 | 745,000 |
| 後期 納入 | 授 業 料(後期) | 360,000 | 335,000 | 350,000 |
| | 施設設備費(後期) | 150,000 | 135,000 | 135,000 |
| | 実験実習料 | 30,000 | 25,000 | 30,000 |
| | 計 | 540,000 | 495,000 | 515,000 |
| 合 計 (年額) | | 1,380,000 | 1,220,000 | 1,260,000 |

8 教育施設

- (1) 校地等 52,523 m² (学生寮 2,729 m²及び借地 998 m²を除く)
- (2) 校舎等 33,860 m² (学生寮 5,111 m²を除く)
- (3) 使用目的別校舎等
- 1号館 管理棟
 - 2号館 講義室、マルチメディアルーム、ゼミ室、研究室、女子体育研究所
 - 3号館 藤村総合教育センター、地域交流センター、110周年記念藤村学園資料室
 - 4号館 講義室、武道場、メディアホール、ピアノレッスン室、多目的演習室、美術室、造形室、ゼミ室、研究室、会議室、キャリア支援センター、教職センター、健康管理センター、屋上多目的運動スペース
 - 5号館 第一体育館
 - 6号館 食堂・学生ホール、合宿室、保育演習室
 - 7号館 第二体育館、第三体育館
 - 8号館 合宿室
 - 9号館 第五体育館、プール
 - 10号館 第六体育館、図書館、多目的室
 - 11号館 第七体育館
 - 12号館 事務室、会議室
クラブハウス

(※学生寮(ふじ寮) 東京都国立市青柳)

II 大学・短期大学の運営

1 教授会の開催

- (1) 定例教授会（月1回、原則として第一水曜日開催）
- (2) 臨時教授会（年7回程度開催）
- (3) 部館所長会（必要に応じて随時開催）

2 部館所長

（平成30年4月1日）

| 部・館・室長名 | 氏名 |
|------------|-----------|
| 教務部長 | 美谷島 正義 教授 |
| 学生部長 | 長谷川 洋子 教授 |
| キャリア支援部長 | 秋山 エリカ 教授 |
| 教職センター所長 | 小林 福太郎 教授 |
| 入試部長 | 押尾 賢一 教授 |
| 広報部長 | 山田 まゆみ 教授 |
| 図書館長 | 阿江 美恵子 教授 |
| 女子体育研究所長 | 掛水 通子 教授 |
| 健康管理センター所長 | 山田 浩二郎 教授 |
| 地域交流センター所長 | 田中 洋一 教授 |

※ 任期は、平成29年4月1日から31年3月31日〔2年間〕

3 平成30年度 行事予定表

別紙2のとおり

4 学生数

【大学及び短期大学の在学生数（平成30年3月1日）】

（単位：人）

| 学年 | 大 学 体育学部 体育学科 | 短 期 大 学 | | | 総 計 |
|----|---------------------|---------|---------|---------|-----------|
| | | 保健体育学科 | 児童教育学科 | 計 | |
| 1 | 388 (2) | 33 (1) | 60 (0) | 93 (1) | 481 (3) |
| 2 | 343 (2) | 53 (0) | 76 (0) | 129 (0) | 472 (2) |
| 3 | 375 (2) | / | / | / | 375 (2) |
| 4 | 423 (2) | | | | 423 (2) |
| 計 | 1,529 (8) | 86 (1) | 136 (0) | 222 (1) | 1,751 (9) |

（ ）は、休学者数で内数

Ⅲ 事業の内容

本年度の事業計画は、重点事業として、「中長期計画」「教育内容等の改善充実」「研究活動の促進」「学生支援の改善充実」「キャリア支援の充実」「広報活動の充実」「地域交流事業の充実」「教育環境の整備充実」の8事業を掲げ、大学教育の質の向上を図るための計画実施に必要な経費を措置していきます。

1 重点事業の概要

(1) 中長期計画

① 中期計画の実施

平成 32 (2020) 年開催の東京オリンピック・パラリンピックや、平成 34 (2022) 年には創立 120 周年を迎えることを踏まえ、寄付金募集や新校地取得に伴うキャンパス構想計画と併せ将来にわたって安定的に教育・研究を推進し、経営の健全化を図るため、中期財務計画(平成 29 年度から平成 34 年度)に則して、事業を推進する。本学の強みを全面に出す戦略的広報活動を展開し、奨学金等を充実させ学生の修学環境を整備することで学生数を安定的に確保する。また、事業活動収支差額は常に収入超過を目指す。

[基本方針]

○短期大学の改革を行う

平成 30 年度から保育士養成課程の開設に伴い、幼保コースの確立及び充実に資する。また、長期構想委員会：短期大学ワーキンググループでの検討内容を精査し、実施に向けて更に審議を重ねていく。

○大学の改革を行う ＜新規＞

長期構想委員会での短期大学の改革状況を踏まえ、委員会の下に大学ワーキンググループを設置し、検討を開始する。

○教育改革を計画的に推進する

カリキュラム改革等の教学改革を計画的に推進する。

2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、藤村トヨの建学の精神に基づく女子体育指導者の養成及びアスリートの育成を図る。

○学生数の増加を図る

教育内容・方法の改善充実、キャリア支援の強化、クラブ活動の強化を図り、本学の強みを踏まえた戦略的広報活動を展開し、本学への受験者数・入学者数の増加を図るとともに、きめ細かな学生への対応により、中途退学者数の減少を図る。

○教育職員採用試験合格者及び採用者の増加を図る

教員採用受験講座やそれに付随する講座の充実を図り、採用試験合格者、採用者を増やす対策を推進する。

○経費の削減を図る

事業の必要性及び費用の妥当性を検証するほか、一般的経費については削減目標を設定し、継続して削減する。

② 長期構想計画の策定

長期構想委員会において、全学的な取り組みとして、将来計画等基本戦略及び中長期構想の具体策を検討していく。

※大学、短期大学其々のワーキンググループにおいて、詳細な計画を検討していく。

③寄付金募集

120周年記念事業としてのキャンパス計画を基に、教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生生活への支援経費及び校舎その他付属設備の取得・改修費のため募金活動を行う。

④学園資料の整理・保存

創立100周年記念事業において収集した写真資料(写真2,327点)を整理し、データ入力・アルバム作成・デジタル化を行う。今後も、学内各部署からの写真の収集、データ入力、デジタル化した写真の補正等を行い、学園資料を整備していく。

⑤キャンパス整備計画

将来的な5・6・7・8号館の建替えを視野に入れ、競技系のスポーツ施設を整備する。テニスコート移設(平成30年度完成予定)・複合体育館建設(平成33年度完成予定)・学内LED化推進計画・1号館空調設備改修計画

(2)教育内容等の改善充実

①本学の今後の在り方を踏まえた教育の質保証

大学・短期大学の教育の質を高め、学生の有意義な生活を保障するため教育・研究に関わる様々な改革・改善に取り組む。

○学生意識調査の実施

入学理由・学生生活・課外活動・学修・キャリア支援・悩み・健康に関することについて「学生調査アンケート」を実施し、その結果に基づく学生支援の分析、及び学修活動の充実を図る。

I. 学生調査アンケートの集計結果を元に、教学部門と協力して本学の課題解決に向け改善策を探る。その際、企画調査室は改善策を導き出すための分析データの提供を主として行い、具体的な改善策は担当部署が主体となって考え、実行するものとする。

II. 教務課、学生課をはじめとした教学部門が管理するデータや調査結果を集積・分析し、経年的に考察し、問題の特質を探る。

III. 集積データを使い、本学の問題や強みとなる部分を図表を用いて可視化した「ファクトブック」を作成する。

②平成30年度新カリキュラムへの対応 ＜新規＞

平成31年度授業時間割の編成において、保育士養成課程設置に伴い改正した児童教育学科の平成30年度新カリキュラムを完成させる。また、平成27年度カリキュラムが適用される平成29年度以前の入学生が在学する間、卒業に必要な科目を適切に運用しながら、新カリキュラムへの完全移行を図る。

③FD活動の充実

本学の教育・研究の改善・充実を図るため組織的な取り組みを行う。

FD委員会を中心にFD研修の実施、学生による授業評価の活用等により、教員の教育意識や指導技術を高め、授業内容の改善・充実に資する。またSD委員会と連携し、学内教職員全体で職員力向上を図るべく、研修を計画・実行する。

(3) 研究活動の促進

① 女子体育研究所における研究の充実

研究機能の充実に努め、研究関連情報の収集・提供及び補助金申請支援等研究活動の充実に図る。

健康・体力に関する研究の一環としての体力テストを、学生を主体に測定実習として行う。その結果を分析評価し、学年・学科・種目別平均値等の体力プロフィールを作成し、継続資料として蓄積する。また、児童教育学科の学生に対しては、文部科学省の新体力テスト実施要項に基づく測定項目に追加項目を加え、調査依頼にも対応する。

女子体育研究所運営委員会を中心に、共同研究の充実に図る。

② 研究活動の活性化

研究者情報(業績)の一元化及び教員の事務的業務の効率化に寄与する研究者情報管理システムを引き続き活用し、研究活動を実質的に支援する。

研究活動を広く発表する場として紀要を発行し、他大学等の図書館へ配布するほか、本学図書館主導で構築する東京女子体育大学学術機関リポジトリに掲載して、さらに発表の場を広げる。なお、紀要には研究論文の他に、教員の当該年の研究活動報告を掲載する。

従来個人研究に対する補助に加え、教員が研究内容の充実に図り、その研究成果を当大学や学会等の紀要や研究誌に発表することを奨励するため、「奨励個人研究費」を引き続き設ける。

(4) 学生支援の改善充実

① 運動部活動の強化・充実

本学の専門性を支える運動部活動を強化し、学内の活性化及び社会的知名度を高めることに貢献するため、スポーツ系クラブから大学指定クラブを選抜し、計画的に強化を図る。

指定クラブの選抜及び強化策については、検討プロジェクトを設置し、平成31年度に向けて具体策を検討する。

② 学生の生活支援

入学直後のフレッシュウィークでの集中指導や学生相談箱の設置、クラス・ゼミ担任及びクラブ部長等の学生相談やオフィスアワー等を通じ、学生生活全般の支援を行う

③ 奨学金の給付

本学独自の奨学制度として、藤村学園育英奨学生、スポーツ奨学生及び藤村学園スポーツ特別奨学生を継続して実施する。平成30年4月から藤村トヨ奨励金及びスカラシップ制度を導入し、勉学やクラブ活動で本学の範となる学生を奨励する。

○ 藤村学園育英奨学金

学業成績と学業以外の優れた活動において優れた資質、素質を有し、着実に実績を積んでいる将来有為な学生で、修学を継続するために経済的援助を必要とする者に対し学資を支援し、もって本学が期待する優れた人材の育成に資する。

○スポーツ奨学金

当該年度にスポーツ活動において優秀な成績を取めた学生に対して奨学金を授与し、競技活動を奨励・支援する。

○藤村トヨ奨励金 <新規>

学業成績その他の活動を含め、建学の精神に則り模範となる学生に対し、表彰及び奨励金を授与する。

○藤村学園スポーツ特別奨学金

本学の建学の精神及び教育理念に沿って本学の社会的地位の基盤に貢献しうる入学生で、国際大会・国民体育大会・インターハイ等において、優秀な成績を取め、将来が期待できる学生を支援する。

○学校法人藤村学園スカラシップ制度（平成 31 年度入学生から対象） <新規>

建学の精神のもと、優秀な指導者を育成するために、成績優秀者、将来有為な学生を入学させることを目的とする。

スカラシップ生として選抜された入学生には、学業、生活態度において他の学生の模範となること、卒業後のビジョンを明確に持ち勉学に励むことを期待する。

④教師力養成講座

○参観実習

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことが主たる目的である。いわゆる教員採用試験対策に終始せず、教員としての力量を高める基礎づくりに主眼を置いて事業を展開していく。

⑤教員採用試験対策講座 <新規>

○教採試験対策講座

教員採用試験合格者を増やす対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2次試験対策としては、面接指導・模擬授業対策を個別で対応し、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

○教養対策講座

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師として必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

(5)キャリア支援の充実

①キャリア形成支援

学生が生涯にわたって正しい職業観・勤労意欲を身に付け、自分に適した職業を見つける能力を養い、自主的・積極的に就職活動を進められるように、入学時から体系的・計画的な支援、指導を行う。

キャリアデザイン授業と就職活動支援。必修科目「キャリアデザイン」はこれからのキャリア形成を考えていくための授業であり、学生のキャリア形成の充実を図る。

就業体験をすることにより、学生の就職意識の啓発・深化を図り主体的な職業選択能力を養成するため、インターンシップを実施する。(平成 29 年度から単位化)

②就職活動支援

年間を通じて就職・資格ガイダンスを実施するとともに、基礎的就職力の養成及びレベルアップを図ることを目的とした、就職対策講座等を実施し、就職活動を支援する。就職活動に向けて基礎的な講座を行い、就職の理解を深め、継続して取り組み、直前講座に繋げる。対象は「大学 3 年短大 1 年生全員」とする。

学生の就職を実現するため、就職相談、職業紹介、学内合同企業説明会を実施する。学生がネット上で就職情報を閲覧することができるクラウドサービス(キャリアタス)を導入する。

卒業学年の進路状況の把握、集計、記録、分析を行い、よりよい支援体制や支援プログラムを展開する。

就職推進懇談会や企業への訪問を行い、学生の就職実現のための情報収集、意見交換及び幼稚園・体育施設・企業関係者への積極的な働きかけを行う。

後援会支部懇談会に就職に関する情報を提供する。

③資格取得支援

就職に有利となる資格取得の助言・指導を行い、学生のキャリアアップを図る。

○各種資格取得支援：健康運動指導士、健康運動実践指導者等実用的な資格取得のための対策講座を開講し、学内で秘書技能検定試験を実施する。

○社会体育施設実習：社会体育施設についての理解を深め、社会体育指導者としての資質を養い、社会体育施設への就職の機会を広める。

(6)広報活動の充実

①広報が担う大学存在価値の訴求

大学の「存在価値」を全国的に浸透させる活動は学生募集の基盤であり、その継続的な取り組みが「2025 年問題」に向けた喫緊の課題である。

「本学の実績と本学の学生及び関係者の活躍を周知することで社会的な必要性和大学の認知度を上げ、優秀な人材を多く入学させるための広報活動を行う」というコンセプトの下、情報発信力を継続的に強化し積極的な広報活動を行う。

心に訴える言葉として「一生ものの、姿勢をつくる」をキャッチフレーズに、「TWCPE」を大学のロゴとして活用し、本学のイメージに則した広報活動を効果的に行う。

現在、大学ブランドを全国に訴求する手段として、ツールを充実し活用できるあらゆるメディアの訴求力を最大限に利用しているが、さらに広報活動を強化する。また、人的ネットワークを構築し、今後の広報活動に活用していく。

広報活動の継続的な発展と充実が平成 30 年度以降の中期的構想における目標達成には不可欠であり、本学のブランディング戦略及び独自の広報活動を立案実施し、大学ブランドを全国に訴求する。

②戦略的學生募集広報

戦略的學生募集の広報活動は、「本学への初期接触者を増加させ、出願するまで

結びつける」という基本的コンセプトに則った広報活動を行う。

その実現のために、本学の本質的魅力を発掘し、多様なメディアを利用して、本学への興味を引き上げ、大学要覧やホームページの更なる充実とオープンキャンパスの質的改善を行いながら、学生募集における積極的な広報活動を行う。

その一環としてスマートホン向けの対応とウェブサイトからのメッセージ発信を積極的に投入する。

ミニオープンキャンパスは、藤栄会や卒業生教員との繋がりを密にし、相互協力の下、地方の優秀な高校生等を出願に結びつけることを目的に興味の湧く内容で開催する。

③進路アドバイザーによる学生募集広報の発展

訪問実績を踏まえ、学生募集活動をさらに充実させて広報活動を行う。特に関東エリアでは前年の訪問校を継続して訪問しつつ新規校開拓の広報活動も展開する。

地方の才能ある高校生等獲得のためにミニオープンキャンパスを開催する。ミニオープンキャンパス開催地域の卒業生とのネットワークの構築と現役卒業生教員との連携も図り、協力を依頼する。全国規模の継続した募集活動を積極的に行う。

(7)地域交流事業の充実

①公開講座

本学の教育・研究の成果を地域に開放し、生涯学習の場を提供する公開講座を充実し、本学と地域社会との交流を図る。

対象を幼児から成人までの5区分で実施する。

幼児・小学生講座は、総合的な動きづくりとスポーツの楽しさに重点を置き、発育発達期に応じた講座の充実を図る。また、文化や科学のこころを育てる講座も開講する。

高校生講座は本学の教育の魅力のアピールする機会でもあるため引き続き実施する。

成人講座は、スポーツを医・科学や運動学、スポーツ栄養学から捉え、健康づくりや生涯スポーツを楽しむ講座の充実を図る。

②定期レッスン

近隣の子どものスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、定期的に有料講座を開講する。

③ジュニア・ユースクラブ

近隣の子どものスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、ジュニア・ユースクラブを実施する。

3種目(新体操、ヒップホップ、サッカー)すべてにおいて、さらに地域に根付いたクラブを目指し、地域イベントなどにも積極的に参加しながら、大学と地域の交流の場も広げ、活動内容のさらなる充実を図る。各種目クラス編成については昨年度同様とする。

④ジュニア・ユースクラブ強化推進

新体操クラブでは2020東京オリンピックを見据え、競技力強化・育成を行う。

外国人特別講師招聘では最先端の指導を受け、さらなる技術力向上を図る。国内競技会、強化合宿等にも積極的に参加し、スポーツを通してより豊かな人間性を育む本学独自の取り組みを行う。

(8) 教育環境の整備充実

① 体育館等水銀灯照明設備 LED 化改修工事 (継続)

平成 28 年度、平成 29 年度の照明 LED 化改修工事に引き続き、平成 30 年度では第 5 体育館(600W×20 台)及び第 6 体育館(1000W×24 台)の水銀灯等照明について LED 化改修工事を実施し、照明力の一層の向上、省エネルギー対策、取替メンテナンスの省力化などコスト削減効果を踏まえた教育環境の向上を図る。

② 6 号館学生食堂リニューアル改修工事

一人席やソファ席の設置、空きスペースを活用した席数の増加、テーブル・チェアの更新整備、食堂西側通路のオープンカフェへの対応等食堂環境の快適化に向けた施設設備の充実強化に向けた改善を行う。

③ 各建物耐用年数向上化促進改修工事 (継続)

1 号館～12 号館の各建物の耐用年数の向上に向けて、給排気ファンの更新や外壁ひび割れ補修など安全と安心の施設設備の充実に向けた耐用年数向上対策に必要な改修工事を実施する。

④ 学内ネットワークシステム関係機器備品更新

学内情報ネットワーク設備について、保守期限の到来に伴う設備更新を行うことを契機に、より一層の快適なネットワーク環境を充実させるためのアラート機能を強化し、安全安心に配慮する。

⑤ 1 号館 2 階・3 階冷暖房設備改修工事

1 号館 2 階の冷暖房設備について省メンテナンスコストを踏まえ現在の設備である冷温水発生器によるガス動力方式を活用しつつ、執務能率の向上に資するために、各室での ON OFF の適切な利用形態への対応を図る。

⑥ 1 号館 3 階会議室等内装改修工事 ＜新規＞

3 階会議室については、壁紙の張替や床カーペットの張替を行い、景観と快適性の充実を図る。

⑦ 図書館開館時間の延長

学生の学習時間の確保等に対応するため、授業期間中の平日及び土曜日に図書館の開館時間を延長し、平成 28 年度からは試験、卒業研究期間中の開館時間をさらに延長した。引き続き、学生の利用に供する。

⑧ 地下書庫移動棚増設 ＜新規＞

体育・スポーツ関係の図書約 30,000 冊の収容能力強化を図るため、地下書庫移動棚 6 列の増設を行う。

2 所管別事業

○教育改革推進関係事業【総務課・企画調査室】

(1) 学生による授業評価の実施

教員の教育意識や指導技術を高め、学生の視点に立った授業内容の改善に資するため、大学（体育学部体育学科）、短期大学（保健体育学科、児童教育学科）において、全科目、全クラスを対象に学生へのアンケート調査を実施する。

実施時期 前期授業 6月下旬～7月 後期授業 11月下旬～2月中旬

学外・集中授業 8月～9月、12月～3月上旬

科目数 約350科目 授業数 約700クラス 履修者数 延べ4万6千人

自己点検評価の一環として実施しており、調査結果を各担当教員へ通知する。各教員が調査結果を分析し、改善策等についてコメントしたものを報告書としてまとめ、学生のみならず教職員の閲覧に供し教育の質を向上させる。

(2) 自己点検評価報告

教育実践の一層の改善・充実を図るため、教育・研究活動の現状について自己点検評価を行う。平成30年度は、平成29年度の点検を行い、「平成29年度点検報告」としてまとめ、ホームページにて公開する。

(3) 学園研修の推進

大学設置基準の改正によりSD研修の位置付けが事務職員のみならず教育職員も含めた研修となった。それに伴い、教育職員と事務職員とが共に職員としての質向上を目指して組織的な研修活動を推進する。

(4) FD活動の推進

授業内容の改善・充実を図るための組織的な活動を推進する。FD委員会を中心にFD研修の実施、学生による授業評価の実施とその活用策等を検討する。

(5) ティーチングポートフォリオの作成

年度ごとのシラバス、授業評価結果等を教員ごとに管理・保管し、継続的な教育改善に資する。

○事務局関係事業【総務課・経理課・企画調査室・募金担当】

(1) 2020 東京オリンピック・パラリンピック プロジェクト

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向け、平成26年度に立ち上げたプロジェクト本部及び専門委員会を中心に本学の資源を生かした方策を検討すると共に講座等を実施する。

(2) 寄付金募集

新入生保護者も加えて、120周年記念事業としてのキャンパス計画を基に、教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生生活活動への支援経費及び校舎その他附属設備の取得・改修費に係る資金調達のため募金活動を行う。

(3) 事務職員研修（SD研修）

事務職員の能力向上のため、SD推進プロジェクトチーム（SD推進PT）を中心に学内研修会の開催等、組織的に対応する。

(4) 「学園報」の発行

学園の基本情報を学内・学外に広く提供・周知するため「学園報」を定期的に発行する。

(5)国際競技会等に対する報奨金

在学生が高次の国際競技会に日本代表として出場した時に、大会成績に応じて報奨金を授与する。

(6)本学の今後の在り方を踏まえた教育の質の保証（学修実態調査）

大学・短期大学の全在学生を対象に、入学理由・学生生活・学修などの質問項目から、本学における学修実態の把握を行う。アンケート実施後は、その結果を定量的に分析し、教育の質の向上を目指す。

○教務関係事業【教務部 教務課】

(1)履修指導の充実

学部、学科のカリキュラムを基に、学生一人ひとりの能力・適性、興味・関心に応えられる多様な教育メニューを整え、充実した学習ができるよう履修指導等を充実し、支援していく。また、履修登録、成績管理、卒業認定単位の確認、休講・補講・教室変更等の情報など、学生情報に関する新教学システム「UNIVERSAL PASSPORT」の充実・強化を図り、学生及び教職員に対して教学事務の利便性の向上を図っていく。

(2)学外実習・演習

夏季学外講座 6 科目 冬季学外講座 4 科目

(3)創作オペレッタ発表会

短期大学児童教育学科 2 年生の参加により、カリキュラム授業の中で創作劇の脚本、演出、音楽、出演など学生自身で行う創作オペレッタ発表会を開催する。

(4)導入教育の実施

ア) 「藤村トヨの教育」（講義・演習 1 単位） 「国語基礎講座」（講義 2 単位）

新入学生対象／大学・短期大学

イ) フレッシュマンセミナー

保健体育学科 1 年対象／水泳（含海浜実習）

児童教育学科 1 年対象／野外活動演習

(5)キャリア教育の実施

「キャリアデザイン」（講義・演習 1 単位） 新入学生対象／大学・短期大学

(6)履修形態の多様化

ア) 科目等履修生の受け入れ（大学・短期大学）

イ) 他学科履修制度（短期大学児童教育学科・10 単位以内）

ウ) コース制

短期大学児童教育学科

幼小コース（幼稚園教諭・小学校教諭）/幼保コース（幼稚園教諭・保育士）

(7)授業運営の充実・効率化

ア) スチューデントアシスタントの活用

イ) 出席管理システムの活用

(8)聴覚に障がいのある学生への支援

ア) ノートテーカーの配置

○教職関係事業【教職センター 教職課】

(1)教育実習の実施

| | |
|---------------|-----------------|
| 大学体育学部体育学科 4年 | 305人 |
| 短期大学保健体育学科 2年 | 11人 |
| 短期大学児童教育学科 2年 | 76人 (科目等履修生を含む) |

(2)介護等体験の実施

| | |
|------------------|------|
| 大学体育学部体育学科 2年・3年 | 280人 |
| 短期大学保健体育学科 1年 | 15人 |
| 短期大学児童教育学科 1年 | 25人 |

(3)教員免許状更新講習の実施

教員免許法の改正により、平成 21 年度以降に交付される教員免許状には、10 年間の有効期限が付されることとなった。これを受けて、既に免許状を保有している現職教員を対象に、教員としての最新の知識技能を身につけるため、10 年に 1 回の更新講習を受講することとなっている。

本学は、昨年度に続き文部科学大臣の認定を受け、同講習会を開講する。

○講習の内容及び講習時間

①【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域（6 時間）

国の教育施策や世界の教育の動向、教員としての子ども観・教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題

②【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は経験に応じ、選択して受講する領域（6 時間）

学習指導要領の改訂の動向等法令改正及び国の審議会の状況等、教科横断的な視点からの教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組、教育の情報化（情報通信技術を利用した指導及び情報教育（情報モラルを含む））

③【必修領域講習】教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項（18 時間）

授業に活かす保健体育科教育の改善と工夫（講義・実技）

(4)教師力養成講座

【参観実習】

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを目標に、公立小学校等にて参観し、教員としての力量を高める基礎づくりを行う。

【教養対策講座】

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師として必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

【教採試験対策講座】

教員採用試験合格者を増やす対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2 次試験対策としては、論作文・面接指導・模擬授業対策を個別で対応し、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

○学生支援関係事業【学生部 学生課】

(1)フレッシュウィークの実施

新入生が大学での学習の魅力を肌で感じ、新鮮な印象と期待感を持って学園生活をスタートできるよう期間を設け、授業ガイダンス、キャリア支援、クラブ活動、学友会活動など学園生活に必要な事項のオリエンテーションを年度当初に集中的に行う。

(2)クラブ活動の充実

ア) 国際試合等海外遠征支援(補助金の支給)

イ) クラブ活動支援

運営指導必要経費(学外指導者連絡費等補助金の支給) 対象クラブ: 38クラブ

ウ) 特別学外指導者の配置 対象クラブ: 5クラブ

エ) 学外指導者の配置 対象クラブ: 20クラブ

オ) 特別コーチの配置 対象クラブ: 4クラブ

(3)藤園祭(学園祭)の実施

11月3日(文化の日)を中心とした2日間に、様々なイベントや模擬店等を学生からなる藤園祭実行委員会が企画・運営し、地域の人たちとのコミュニケーションを図る。

(4)奨学金の給付

ア) 藤村学園育英奨学金

大学・短期大学在学対象 予算額: 1,100万円(本学独自の奨学金)

イ) スポーツ奨学金

大学・短期大学在学対象 予算額: 400万円(本学独自の奨学金)

ウ) 藤村トヨ奨励金

大学・短期大学在学対象 予算額: 90万円(本学独自の奨学金)

エ) 国際競技会等に対する激励金

大学・短期大学在学対象 予算額: 150万円(本学独自の奨学金)

(5)日本学生支援機構奨学金の貸与(平成29年10月1日現在の実績)

第一種奨学金(無利子) 262人

第二種奨学金(有利子) 608人

(6)学生相談

ア) 学生相談箱の設置

イ) 相談担当教員による相談、臨床心理士等によるカウンセリング

(7)オフィスアワーの実施

学生のより豊かな学習活動を支援するため、全教員が曜日と時間を設定し、学生の相談等に応じ、きめ細かい支援をする。

(8)学生寮「ふじ寮」の運営

寮生数(想定) 新入生 147人、在寮生 103人 合計 250人

○キャリア支援・就職対策関係事業【キャリア支援部 キャリア支援課】

(1)ガイダンス・講習等

ア) 就職オリエンテーション 〈全学生〉

フレッシュウィーク就職オリエンテーション前期1回 後期1回

キャリアガイダンス 年間10回

イ) 資格取得オリエンテーション 年間 12 回

(2) キャリア支援

ア) 印刷物の作成

就職ガイド『「なりたい！」の実現を目指して』 大学 3 年、短期大学 1 年

イ) キャリアカウンセリング 〈全学生〉

専門のキャリアコンサルタントを配置して、学生の進路相談に応じる。

応募書類の添削指導、学生の個人指導・アドバイスをを行う。

ウ) 卒業生も含め、個々の学生の就職相談に応じる。

エ) キャリア支援関係情報の収集・提供

(3) 就職活動支援

ア) 就職対策講座

就職対策講座Ⅰ（基礎） 大学 3 年・短期大学 1 年生全学生対象

公務員コース（後期週 1 回 全 7 回）50 人

一般企業・体育施設コース（後期週 1 回 全 6 回）250 人

就職対策講座Ⅱ（直前） 大学 3 年、短期大学 1 年 100 人

筆記試験対策講座 大学 3 年・短期大学 1 年 30 人

イ) インターンシップ（1 単位） 夏季休業中 大学 2・3 年、短期大学 1 年 100 人

(4) 各種資格取得支援

社会体育施設実習 大学 4 年 20 人 短期大学（保健体育学科）2 年 10 人

健康運動指導士認定試験対策講座 大学 4 年 10 人

健康運動実践指導者認定試験対策講座

大学 3・4 年 40 人 短期大学（保健体育学科）2 年 10 人

共通科目Ⅰ集中講座 短期大学（児童教育学科）1・2 年 30 人

日本赤十字社救急法講習会 全学年 50 人

日本赤十字社水上安全法講習会 全学年 20 人

秘書検定講座 「秘書検定 2 級」 10 月講座開講

(5) 対外活動

対外的な活動によって情報を収集し、新たな就職先を開拓する。また、後援会支部会等
に出席し、就職に関する情報を提供するとともに、保護者の理解と協力を得る。

ア) 就職推進懇談会等

幼稚園長懇談会

体育施設関係、一般企業関係懇談会

イ) 訪問活動

体育施設、一般企業等

後援会支部懇談会

○学生募集・入学試験関係事業【入試課・広報課】

(1) 入学試験の実施

ア) A0 型入学試験（4 期）

イ) 推薦入学試験（公募推薦、指定校推薦、スポーツ推薦）

ウ) 一般入学試験（Ⅰ期、Ⅱ期）

- エ) センター試験利用入学試験
- カ) 大学3年次編入学試験（Ⅰ期、Ⅱ期）

(2) 学生募集活動

- ア) オープンキャンパス（7回）・ミニオープンキャンパス（4会場）の実施
 - イ) 高校訪問
 - ウ) 進学説明会への参加（延べ80回）
 - エ) スポーツ推薦の学生募集

(3) 広報活動

- ア) 高校生・他大学等対象「大学要覧」の発行（A4版92ページ 18,000部）
- イ) 広報誌の発行

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 「ヘッドライン」 | 年1回 延 3,500部（保護者向け・在学生） |
| 「ラブスポ」 | 年1回 延 15,000部（学外向け・保護者向け・ 在学生・高校生） |
| 「ハンドブック」 | 年1回 8,000部（高校生向け） |

- ウ) ホームページによる広報
大学案内、入試案内、オープンキャンパス開催案内、資料請求等
- エ) インターネット（パソコン・スマートフォン）を利用した広報
- カ) 受験雑誌、新聞、広告等による広報
- キ) 指定校ポスター等の制作・掲載・配付
- ク) 交通広告による広報

(4) スポーツ特別奨学生の運営

Aランク 入学初年度費用相当額（入学金、授業料、施設設備費、実験実習費）及び次年度の授業料（前後期）相当額を免除。ただし、次年度の免除については別に定める基準により評価し決定する。

Bランク 入学初年度費用相当額（入学金、施設設備費）を免除

Cランク 入学初年度費用相当額（入学金）を免除

(5) スカラシップ制度（新入生）の導入

本制度の受験者の中から対象者を選考し、スカラシップ生の決定を行う。該当者は、年額授業料の1/2程度を免除する。

○ 学生・教職員の健康管理関係事業【健康管理センター】

医療法に基づく認可を受けた「診療所」として、治療処置の初期対応や迅速な措置を行うことにより学生・教職員の健康管理の充実を図る。

学生の健康診断に基づき学生一人ひとりの健康を医師が専門的に管理し、健康の保持増進に努める。

また、新型インフルエンザ等感染症は、学生をはじめ学園に関わる全ての者に注意喚起をするとともに、予防対策と発症時の対応を適宜・適切に行う。

(1) 定期健康診断と事後措置（学生 4月実施）

(2) 定期健康診断と事後措置およびストレスチェックの実施（教職員）

- (3) 医事相談（外科、内科、整形外科 他全般）
- (4) リハビリ相談（理学療法士による相談、指導）
- (5) 精神衛生相談（臨床心理士による心理相談）
- (6) 応急手当・保健指導

○教育・研究支援関係事業【女子体育研究所】

女子の体育・スポーツ・レジャー・ニュースポーツ等とこれに関連する研究調査を行い、その向上、発展に資することを目的とし、その成果を教職員・学生のみならず広く社会へ公開し、社会の発展に寄与する。

(1) 教員の個人研究・共同研究に対する補助

個人研究（本学教員） 共同研究（新規 4 件予定）

(2) 研究フォーラムの開催

研究フォーラムを開催し、教員の個人研究及び共同研究の成果を本学教員と学生に発表する。

(3) 「紀要」、「所報」の発行

「紀要」は教員の研究成果を論文として発表する機会を設けるため毎年発行し、全国の大学や国会図書館・関係出版社等にも配布するとともに東京女子体育大学・短期大学 学術機関リポジトリで発表する。（第 53 号）

「所報」は研究所の研究事業及び共同研究を研究報告として発表する場として毎年発行し、全国の大学等に配布すると同時に東京女子体育大学・短期大学 学術機関リポジトリ発表する。（第 12 号）

(4) 研究者情報の開示（教員の研究業績の開示）

- ① 本学の研究資源として、教員の持っている知的資源、資質・能力及び本学独自の研究指導成果を広く公表する機会とする。
- ② 教員の研究領域や分野を相互に理解し、研究活動を充実させ、研究集団としての価値を高める機会とする。
- ③ ホームページ（教員情報）、researchmap(教員名又は大学名で検索)および J-GLOBAL (researchmap の教員から検索)において、本学教員の研究業績の開示を行っている。

(5) 学生に対する体力テストの実施と測定結果の活用

（大学・短期大学各 1・2 年および競技系クラブ所属 3・4 年生対象）
文部科学省及び全国大学体育連合へデータ提供する。

○地域との交流関係事業【地域交流センター】

地域社会からの要請に応じて大学の教員や学生を派遣し、地域の教育、文化、スポーツ等の活動を支援するとともに、大学主催事業である公開講座、定期レッスン、ジュニア・ユースクラブの運営・実施により、地域の発展に寄与する。

(1) 公開講座の開催

公開講座（20 講座）は、地域の方が自由に参加することのできる講座を無料と有料（実費徴収）で提供する。

| | | |
|-------|-------|-----------|
| 幼児講座 | 3 回開講 | 各 20～30 人 |
| 小学生講座 | 6 回開講 | 各 15～50 人 |
| 高校生講座 | 5 回開講 | 各 50 人 |
| 成人講座 | 3 回開講 | 各 35 人 |
| 共通講座 | 3 回開講 | 各 30～40 人 |

(2) 定期レッスン

定期レッスンは、専門的内容の定期講座を有料で提供する。

新体操 7 回開講 各 50 人 (小学生～高校生対象)

(3) ジュニア・ユースクラブの開催

ジュニア・ユースクラブは、会員制、通年で継続的に事業運営する。

① 新体操クラブ

| | | | | |
|-------|------|-------|----------|----------|
| 一般コース | キッズ | 3 クラス | 毎週 1 回 | 各 15 人 |
| | ジュニア | 7 クラス | 毎週 1 回 | 各 20 人 |
| | ユース | 1 クラス | 毎週 1 回 | 15～20 人 |
| 育成コース | | 4 クラス | 毎週 1 回 | 各 8～15 人 |
| 選手コース | | 2 クラス | 毎週 4～5 回 | 各 8～15 人 |

② ヒップホップクラブ

| | | | |
|--------|-------|--------|------|
| ヒップホップ | 1 クラス | 毎週 1 回 | 15 人 |
|--------|-------|--------|------|

③ サッカークラブ

| | | | |
|------|-------|--------|---------|
| サッカー | 2 クラス | 毎週 1 回 | 15～20 人 |
|------|-------|--------|---------|

(4) ジュニア・ユースクラブの強化推進事業 (新体操クラブ)

東京オリンピックを見据え、会員の競技力強化・育成を図るため、外国人特別講師の招聘を行い、国内競技会および強化合宿東京都新体操ジュニアの育成・強化練習会にも積極的に参加する。

(5) ボランティア講座の開催 (学生対象/5 講座/講義・演習)

学生にボランティアの意義、理論を学ばせ、演習を通してボランティア実践の方法を学ばせる。

(6) ボランティア活動

教育、文化、スポーツ等に関する地域社会からの要請に基づき、教員、学生を派遣し、社会貢献の一環とする。

○図書館の運営関係事業【図書館】

大学附属図書館は大学における教育・研究活動を支える重要な基盤機関であり、また総合的な教養の場でもある。この目的を達成するために学生の教育・学修、教員の研究活動を支援し、図書をはじめとする雑誌、新聞、映像、電子資料、学園史資料の収集・提供・保存を行う。

(1) 図書等資料の収集・整理・保存 (蔵書冊数予定 200,000 冊)

| | |
|--------|-----------|
| 図書受入予定 | 約 4,000 冊 |
| 雑誌所蔵予定 | 約 800 種 |
| 新聞所蔵予定 | 約 14 種 |

| | | |
|----------|---|----------|
| 映像資料所蔵予定 | 約 | 100 タイトル |
| データベース予定 | 約 | 7 種 |

(2) 図書貸出予定冊数 年間 約 4,000 冊

(3) レファレンス・サービス

(4) 学外機関との相互協力

図書館間の資料の相互補完

国立情報学研究所の目録所在サービスへの図書・雑誌所蔵登録

(5) 広報活動

図書館だより 「リーブル」 年 2 回発行

ホームページ（図書館ページ）の更新

(6) 平成 30 年度図書館行事予定

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| ライブラリー・ツアー | 調査・研究に役立てるために、図書館の資料の場所を知り、検索方法や利用法を身に付けさせる。 | 5、6、11 月の水曜日 3・4 限 (延べ 12 回予定) |
| 読み聞かせの会 「絵本から広がる子育て」 | 絵本を入口に子どもと一緒に楽しむ。 | 5 月 第 2 週土曜日 |
| 図書館は楽しい ー子どもと一緒にー 絵本の読み聞かせ 紙芝居 クラフトワーク他 | 学園祭にあわせ図書館を地域に開放して、児童教育学科の学生と子ども達との交流を図り、地域社会への貢献を行うことにより、図書館の有効な利用法の一つとする。 | 11 月 藤園祭期間 午後 1 時～2 時 |
| 卒業研究発表会 写真展示会 | 卒業研究発表会で発表している学生達の様子を写真展示し、学生に修学意欲を起こさせる。 | 1 月中旬 |

○施設の整備【管財課】

(1) 第 5 体育館及び第 6 体育館水銀灯等照明 LED 化改修工事

平成 28 年度、平成 29 年度の照明 LED 化改修工事に引き続き、平成 30 年度では第 5 体育館及び第 6 体育館の水銀灯等照明 LED 化改修工事を実施する。平成 30 年 4 月～6 月の工期のなかで、第 5 体育館水銀灯照明 300W×1 台 270W×1 台 合計 570W 相当の水銀灯 20 灯で 11.4kw 及び第 6 体育館 1000W×24 台で 24kw の総合計 35.4kw について、照明力の一層の向上、省エネルギー対策、取替メンテナンスの省力化などコスト削減効果のある LED 化照明への変換のための改修工事を実施し、教育環境の向上を図る。

なお、照明 LED 化改修工事については、平成 28 年度に教育センターホール・ソフトボール場の水銀灯照明を実施し、平成 29 年度は第 7 体育館・第 3 体育館・陸上競技場の水銀灯照明及び教育センターホールホワイエ・食堂・売店の蛍光灯照明を実施した。今後も、できるだけ早期に水銀灯照明及び蛍光灯照明の LED 化改修工事の推進を図っていく。

(2) 1号館2階3階冷暖房設備、3階会議室内装及び各階照明LED化改修工事

平成30年8月～9月の夏季休業を中心とした工期のなかで、1号館2階の冷暖房設備について省メンテナンスコストを踏まえ現在の設備である冷温水発生器によるガス動力方式を活用しつつ、執務能率の向上に資するために、各室でのON/OFFの適切な利用形態への対応を図る。また、3階会議室については、壁紙の張替や床カーペットの張替を行い景観と快適性の充実を図る。さらに、1階から3階の執務室の蛍光灯照明のLED化改修工事の検討を進め、照度向上、メンテナンスフリー化及びコスト削減を図っていく。

(3) 各建物耐用年数向上対策改修工事

平成30年4月～平成31年3月の工期のなかで、1号館～12号館(2号館及び4号館を除く)の各建物の給排気ファンの更新や外壁ひび割れ補修など安全と安心の施設設備の充実に向けた耐用年数向上対策に必要な改修工事を実施する。

(4) 6号館食堂環境快適化改修工事

平成30年8月～9月の工期のなかで、一人席やソファ席の設置、スペース活用した席数の増加、テーブル・チェアの更新整備、食堂西側通路のオープンカフェへの対応等食堂環境の快適化に向けた施設設備の充実強化に向けた改善を行う。

なお、平成29年度では1階2階食堂・厨房の蛍光灯照明LED化改修工事を実施した。また、食堂運営事業者の変更に伴い、3月には、壁・床・天井の改修工事とともに、2階にベーカリー開店に向けた電源工事を実施した。

(5) 健康管理センター業務支援システム導入及び学内情報ネットワーク設備更新

健康管理センター事務支援システムの導入により、健康診断結果を踏まえた健康管理指導の効率化及び円滑化を実現する。さらに、予防接種の実施状況の適切に把握することにより一層適切な受診促進指導を図る教育環境整備をしていく。

また、学内情報ネットワーク設備について、保守期限の到来に伴う設備更新を行うことを契機に、より一層の快適なネットワーク環境を充実させるためのアラート機能の強化し、安全安心に配慮する。

○キャンパス整備計画【新棟建設担当】

(1) テニスコート建設

将来的な5・6・7・8号館の建替えを視野に入れ、テニスコートを第7体育館北側用地に移設整備し跡地に複合体育館を建設する。

テニスコートは現状と同じ4面だが、国際規格に適合した寸法を確保する。移設整備は、今年度を実施する。

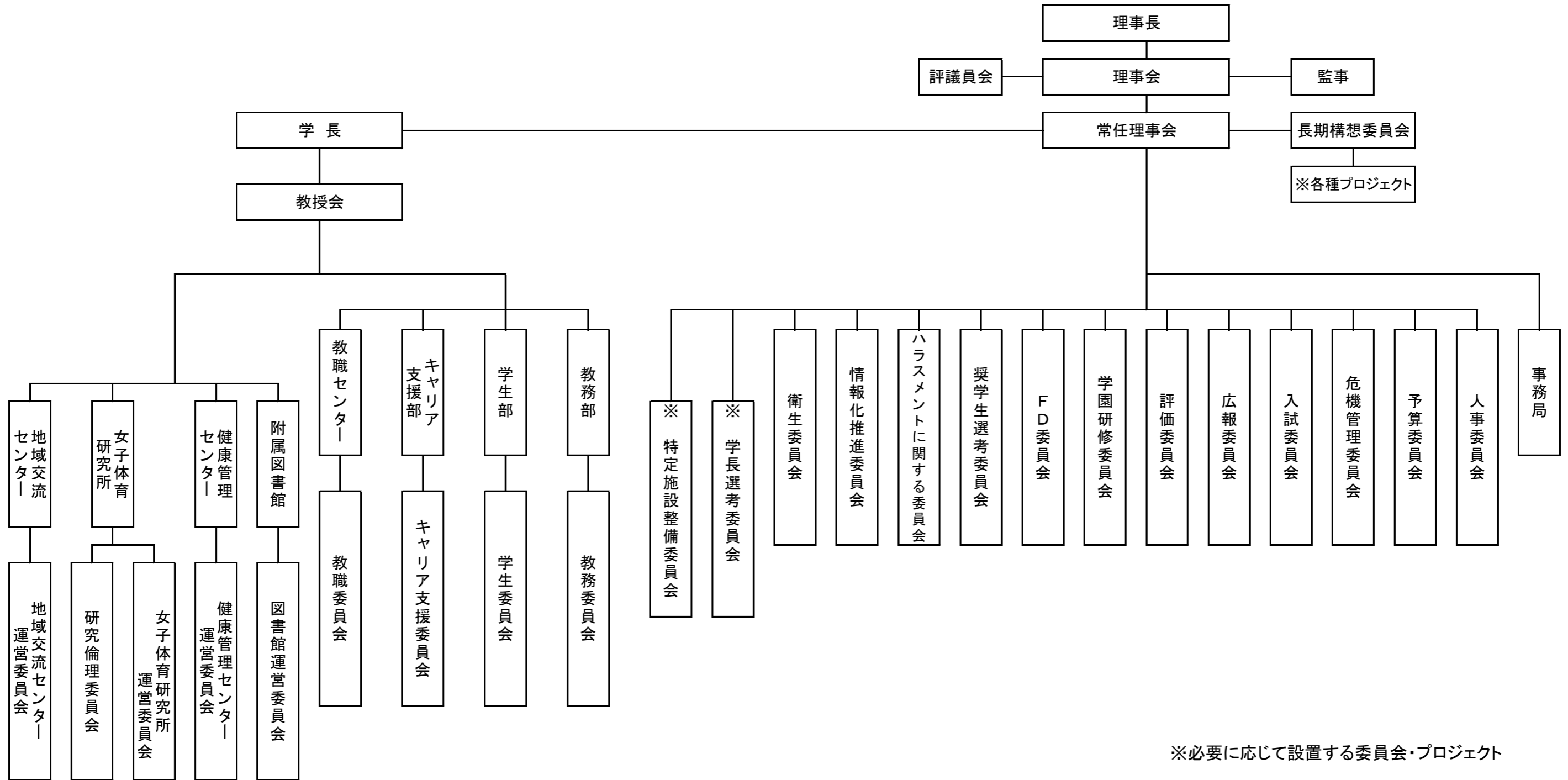
(2) 複合体育館建設

第7体育館北側用地に移設したテニスコート跡地に、複合体育館を建設する。

複合体育館は、バスケットボールとバレーボールが使用できる体育館、新体操競技が使用できる体育館、トレーニング等いろいろなクラブが使える二つの多目的ルームを計画している。今年度は基本設計、実施設計を実施し、平成31年度に工事着工する。

法人委員会及び教学委員会組織連関図

平成30年4月1日



平成30年度行事予定表

| 4 | | | | | | 5 | | | | | | 6 | | | | | | | | |
|----|----|-------------------------------|-----------------|----|------|-------|----|----|------------------------------------|----------------------------------|---------------|-------------|------|---|--------------------------|---------------|-------------|----|-------------|-------------|
| 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | |
| | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | |
| | | | | | 児教2年 | 幼小コース | | | | | | 幼保コース | 児教2年 | | | | | | 幼小コース | 幼保コース |
| 1 | ㊤ | | | | | | 1 | 火 | 4/30の振替休日 | | | | 1 | 金 | | 就職ガイダンス(大3) | 就職ガイダンス(保1) | | 就職ガイダンス(児1) | 就職ガイダンス(児1) |
| 2 | 月 | 春季休業終了 定例教授会 | | | | | 2 | 水 | | | | | 2 | 土 | | | | | | |
| 3 | 火 | 入学式 入寮式 | | | | | 3 | ㊤ | 憲法記念日 | | | | 3 | ㊤ | | | | | | |
| 4 | 水 | フレッシュウイーク 履修登録期間 学生健康診断 | | | | | 4 | ㊤ | みどりの日 | | | | 4 | 月 | | | | | | 実習学習 |
| 5 | 木 | | | | | | 5 | ㊤ | こどもの日 | | | | 5 | 火 | | | | | | |
| 6 | 金 | | | | | | 6 | ㊤ | | | | | 6 | 水 | 定例教授会 | | | | | |
| 7 | 土 | 通常授業開始 授業ガイダンス(前期) | | | | | 7 | 月 | | | | | 7 | 木 | | | | | | |
| 8 | ㊤ | | | | | | 8 | 火 | | | | | 8 | 金 | | | | | | |
| 9 | 月 | | | | | | 9 | 水 | 定例教授会 | 介護等体験学外講師講話(4校時) スタートアップ(5校時) | | | 9 | 土 | | | | | | 前期 補講日 |
| 10 | 火 | | | | | | 10 | 木 | 創立記念日 (授業あり) | | | | 10 | ㊤ | | | | | | |
| 11 | 水 | | | | | | 11 | 金 | | | | | 11 | 月 | | | | | | |
| 12 | 木 | | | | | | 12 | 土 | | | | | 12 | 火 | | | | | | |
| 13 | 金 | | | | | | 13 | ㊤ | | | | | 13 | 水 | | | | | | |
| 14 | 土 | 履修登録締切 | | | | | 14 | 月 | | | | | 14 | 木 | | | | | | |
| 15 | ㊤ | | | | | | 15 | 火 | | | | | 15 | 金 | 教員採用試験 前期対策講座終了 | | | | | |
| 16 | 月 | 教員採用試験 前期対策講座開始 | | | | | 16 | 水 | | 介護等体験学生報告会(5校時) | | | 16 | 土 | | | | | | 前期 補講日 |
| 17 | 火 | | | | | | 17 | 木 | | | | | 17 | ㊤ | オープンキャンパス | カヌー (大3・4) | | | | |
| 18 | 水 | 履修登録確認期間 体力テスト (授業なし) | | | | | 18 | 金 | | | | | 18 | 月 | 教員採用試験 直前対策講座 I | | | | | |
| 19 | 木 | | | | | | 19 | 土 | オリンピック・パラリンピック プロジェクト 履修取消期間 | | | | 19 | 火 | | | | | | |
| 20 | 金 | | | | | | 20 | ㊤ | | | | | 20 | 水 | | | | | | |
| 21 | 土 | オリンピック・パラリンピック プロジェクト | | | | | 21 | 月 | | 教育実習 (高・中) | 教育実習 (小・幼) | | 21 | 木 | | | | | | |
| 22 | ㊤ | | | | | | 22 | 火 | | | | | 22 | 金 | | | | | | |
| 23 | 月 | | 介護等体験(特別支援学校)開始 | | | | 23 | 水 | | | | | 23 | 土 | オリンピック・パラリンピック プロジェクト | | | | | |
| 24 | 火 | | | | | | 24 | 木 | | 就職ガイダンス(保1) | 就職ガイダンス(児1) | 就職ガイダンス(児1) | 24 | ㊤ | | カヌー (大3・4) | | | | |
| 25 | 水 | | | | | | 25 | 金 | | 教育実習学外講師講話 (5校時) | 就職ガイダンス(大3) | | 25 | 月 | 教員採用試験 直前対策講座 II | | | | | |
| 26 | 木 | | | | | | 26 | 土 | | | | | 26 | 火 | | | | | | |
| 27 | 金 | | | | | | 27 | ㊤ | | | | | 27 | 水 | 介護等体験 学外講師講話 (5校時) | | | | | |
| 28 | 土 | | | | | | 28 | 月 | | | | | 28 | 木 | | | | | | |
| 29 | ㊤ | 昭和の日 | | | | | 29 | 火 | | | | | 29 | 金 | | | | | | |
| 30 | 月 | 振替休日 (授業あり) | | | | | 30 | 水 | | | | | 30 | 土 | | | | | | |
| 31 | | | | | | | 31 | 木 | | | | | 31 | | | | | | | |

| 7 | | | | | | 8 | | | | | | 9 | | | | | | | | |
|----|----|------------------------------|----------------------|----|-------------|-------|---|-----------|------------------------------------|--------|------------|------|-------|-----------------------|----|--|-------------------|---------------------|------|-------|
| 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | |
| | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | |
| | | | | | 児教2年 | 幼小コース | | | | | | 児教2年 | 幼小コース | | | | | | 児教2年 | 幼小コース |
| 1 | ㊦ | | カヌー (大3・4) | | | 1 | 水 | | | | | 1 | 土 | | | | | 前期試験 | | |
| 2 | 月 | | 前期補講期間(5校時) | | | 2 | 木 | 教員免許状更新講習 | | 夏季休業開始 | | 2 | ㊦ | | | | | | | |
| 3 | 火 | | | | | 3 | 金 | | | | | 3 | 月 | 教師力養成講座 | | | | | | |
| 4 | 水 | 定例教授会 | | | | 4 | 土 | | | | | 4 | 火 | | | | | | | |
| 5 | 木 | 秘書検定講座案内(全学年) | | | | 5 | ㊦ | オープンキャンパス | | | | 5 | 水 | | | | | 後期オリエンテーション 学力保障 | | |
| 6 | 金 | | | | | 6 | 月 | | キャンプ (大2・保1) 介護等体験(社会福祉施設)開始 | | | 6 | 木 | | | | | 追再試験 | | |
| 7 | 土 | | | | | 7 | 火 | | | | | 7 | 金 | | | | | | | |
| 8 | ㊦ | | 水泳(含海浜実習) (大3・保1) | | | 8 | 水 | | | | | 8 | 土 | | | | | | | |
| 9 | 月 | | | | | 9 | 木 | | | | | 9 | ㊦ | | | | | | | |
| 10 | 火 | | | | | 10 | 金 | | | | | 10 | 月 | | | | | 教育実習(幼稚園)Ⅲ | | |
| 11 | 水 | 教員免許状一括申請 希望者がイダンス(大4) | | | | 11 | ㊦ | 山の日 | | | 夏季休業 開始 | 11 | 火 | | | | | | | |
| 12 | 木 | | | | 就職ガイダンス(児2) | 12 | ㊦ | | | | | 12 | 水 | 定例教授会 | | | | | | |
| 13 | 金 | 教員免許状一括申請 希望者がイダンス(保2,児2) | 就職ガイダンス (大4・保2) | | | 13 | 月 | | | | | 13 | 木 | 夏季休業終了 | | | 就職ガイダンス(大4・保2・児2) | | | |
| 14 | 土 | | | | | 14 | 火 | | | | | 14 | 金 | | | 後期オリエンテーション 学力保障 就職ガイダンス(大3・保1・児1) | | | | |
| 15 | ㊦ | | カヌー (大3・4) | | | 15 | 水 | | | | | 15 | 土 | | | | | | | |
| 16 | ㊦ | 海の日 | | | | 16 | 木 | | | | | 16 | ㊦ | | | | | | | |
| 17 | 火 | 教員採用試験 2次対策講座開始 | | | | 17 | 金 | | | | | 17 | ㊦ | 敬老の日 | | | | | | |
| 18 | 水 | | | | | 18 | 土 | | | | | 18 | 火 | | | 後期オリエンテーション 学力保障 | | | | |
| 19 | 木 | | | | | 19 | ㊦ | | | | | 19 | 水 | | | 追再試験 | | | | |
| 20 | 金 | | | | | 20 | 月 | | | | | 20 | 木 | | | | | | | |
| 21 | 土 | オリンピック・パラリンピック プロジェクト | | | | 21 | 火 | | | | | 21 | 金 | | | | | | | |
| 22 | ㊦ | オープンキャンパス | | | | 22 | 水 | | | | | 22 | 土 | | | | | | | |
| 23 | 月 | | | | | 23 | 木 | | | | | 23 | ㊦ | | | | | | | |
| 24 | 火 | | | | | 24 | 金 | | | | | 24 | 月 | 振替休日(授業あり) 授業ガイダンス | | | | | | |
| 25 | 水 | | | | | 25 | 土 | | | | | 25 | 火 | 履修登録修正期間 | | | | | | |
| 26 | 木 | | | | | 26 | ㊦ | オープンキャンパス | | | | 26 | 水 | 臨時教授会 | | | | | | |
| 27 | 金 | | | | | 27 | 月 | | | 野外活動演習 | | 27 | 木 | | | | | | | |
| 28 | 土 | | 前期試験 | | 補講日 | 28 | 火 | | | | | 28 | 金 | | | | | | | |
| 29 | ㊦ | | | | | 29 | 水 | | | | | 29 | 土 | | | | | | | |
| 30 | 月 | | | | | 30 | 木 | | | | | 30 | ㊦ | オープンキャンパス | | | | | | |
| 31 | 火 | | | | | 31 | 金 | | | | | 31 | | | | | | | | |

| 10 | | | | | | 11 | | | | | | 12 | | | | | | | | |
|----|----|----------------------|---------------------------|----|------|-------|----|----|-------------------|--|----|------|-------|---|---------------------|------|----|----|------|-------|
| 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | |
| | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | |
| | | | | | 児教2年 | 幼小コース | | | | | | 児教2年 | 幼小コース | | | | | | 児教2年 | 幼小コース |
| 1 | 月 | 教員採用試験 後期対策講座開始 ↓ | | | | | 1 | 木 | | | | | 1 | 土 | | | | | | |
| 2 | 火 | | | | | | 2 | 金 | 藤園祭準備 (午後授業なし) | | | | 2 | 日 | | | | | | |
| 3 | 水 | 定例教授会 | | | | | 3 | 土 | 藤園祭 (文化の日) | | | | 3 | 月 | | | | | | |
| 4 | 木 | 履修登録確認期間 ↓ | | | | | 4 | 日 | 藤園祭 | | | | 4 | 火 | | | | | | |
| 5 | 金 | | | | | | 5 | 月 | | | | | 5 | 水 | 定例教授会 | | | | | |
| 6 | 土 | | | | | | 6 | 火 | 11/3の振替休日 | | | | 6 | 木 | | | | | | |
| 7 | 日 | | | | | | 7 | 水 | 定例教授会 | ゼミ所属・専攻コースオリエンテーション (大2・編入希望者) 就職ガイダンス(大4・保2・児2) | | | 7 | 金 | | | | | | |
| 8 | 日 | 体育の日 | | | | | 8 | 木 | | | | | 8 | 土 | | | | | | |
| 9 | 火 | | | | | | 9 | 金 | | 教員免許状一括申請希望者 ガイダンス(保2,児2) | | | 9 | 日 | | | | | | |
| 10 | 水 | | | | | | 10 | 土 | | | | | 10 | 月 | | | | | | |
| 11 | 木 | | | | | | 11 | 日 | | | | | 11 | 火 | | | | | | |
| 12 | 金 | | | | | | 12 | 月 | | | | | 12 | 水 | 卒業研究発表会 (午後授業なし) | | | | | |
| 13 | 土 | | | | | | 13 | 火 | | | | | 13 | 木 | | | | | | |
| 14 | 日 | | | | | | 14 | 水 | | | | | 14 | 金 | | | | | | |
| 15 | 月 | | | | | | 15 | 木 | | | | | 15 | 土 | | | | | | |
| 16 | 火 | | | | | | 16 | 金 | | | | | 16 | 日 | | | | | | |
| 17 | 水 | 臨時教授会 | 教育実習学生報告会 (5校時) | | | | 17 | 土 | | | | | 17 | 月 | | | | | | |
| 18 | 木 | | | | | | 18 | 日 | オープンキャンパス | | | | 18 | 火 | | | | | | |
| 19 | 金 | | | | | | 19 | 月 | | | | | 19 | 水 | 臨時教授会 | | | | | |
| 20 | 土 | | | | | | 20 | 火 | | | | | 20 | 木 | | | | | | |
| 21 | 日 | | | | | | 21 | 水 | 臨時教授会 | | | | 21 | 金 | | | | | | |
| 22 | 月 | | | | | | 22 | 木 | 11/23の振替休日 | | | | 22 | 土 | | | | | | |
| 23 | 火 | | | | | | 23 | 日 | 勤労感謝の日 (授業あり) | | | | 23 | 日 | 冬季休業開始 天皇誕生日 | | | | | |
| 24 | 水 | | | | | | 24 | 土 | | | | | 24 | 月 | 振替休日 | | | | | |
| 25 | 木 | | | | | | 25 | 日 | | | | | 25 | 火 | | | | | | |
| 26 | 金 | | | | | | 26 | 月 | | | | | 26 | 水 | | | | | | |
| 27 | 土 | | | | | | 27 | 火 | | | | | 27 | 木 | | | | | | |
| 28 | 日 | | | | | | 28 | 水 | | | | | 28 | 金 | | | | | | |
| 29 | 月 | | | | | | 29 | 木 | | | | | 29 | 土 | | | | | | |
| 30 | 火 | | 履修取消期間 ↓ | | | | 30 | 金 | | | | | 30 | 日 | | | | | | |
| 31 | 水 | | 教員免許状一括申請希望者 ガイダンス(大4) | | | | 31 | | | | | | 31 | 月 | | | | | | |

| 1 | | | | | | 2 | | | | | | 3 | | | | | | | | |
|----|----|--|----|----|------|-------|---|-----------------------|-----------------------|----------------------|----|-------|------|-----------------|----|------|----|----|----------------------------------|-------|
| 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | | 日 | 曜日 | 大短共通 | 大学 | 短大 | | |
| | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | | | | | | 保体 | 児教 | |
| | | | | | 児教2年 | 幼小コース | | | | | | 幼保コース | 児教2年 | | | | | | 幼小コース | 幼保コース |
| 1 | ㊤ | 元日 | | | | 1 | 金 | | | | | 1 | 金 | | | | | | 保育実習事後報告 (保育所) 事前指導(施設)全体会 | |
| 2 | 水 | | | | | 2 | 土 | | | | | 2 | 土 | 11/4の振替休日 | | | | | | |
| 3 | 木 | | | | | 3 | ㊤ | | | | | 3 | ㊤ | | | | | | | |
| 4 | 金 | | | | | 4 | 月 | | 学力保障 | | | 4 | 月 | | | | | | 保育所実習 I (施設) | |
| 5 | 土 | 9/24の振替休日 | | | | 5 | 火 | | | 創作オペレッタ発表会 | | 5 | 火 | | | | | | | |
| 6 | ㊤ | 冬季休業終了 | | | | 6 | 水 | 定例教授会 | | 学力保障 | | 6 | 水 | 定例教授会 | | | | | | |
| 7 | 月 | | | | | 7 | 木 | 追再試験 | | | | 7 | 木 | | | | | | | |
| 8 | 火 | | | | | 8 | 金 | | | | | 8 | 金 | | | | | | | |
| 9 | 水 | | | | | 9 | 土 | | | | | 9 | 土 | | | | | | | |
| 10 | 木 | | | | | 10 | ㊤ | | | | | 10 | ㊤ | | | | | | | |
| 11 | 金 | 補講日(5校時) | | | | 11 | ㊤ | 建国記念日 | | | | 11 | 月 | 春季休業開始 臨時教授会 | | | | | | |
| 12 | 土 | | | | | 12 | 火 | 教員採用試験対策 春期集中講座開始 | | | | 12 | 火 | | | | | | 保育実習 I (保育所) | |
| 13 | ㊤ | | | | | 13 | 水 | | | 就職対策講座(直前)〈大3.保1、児1〉 | | 13 | 水 | | | | | | | |
| 14 | ㊤ | 成人の日 | | | | 14 | 木 | | | | | 14 | 木 | | | | | | | |
| 15 | 火 | | | | | 15 | 金 | | | | | 15 | 金 | | | | | | | |
| 16 | 水 | 定例教授会 介護等体験希望者がイタンス (大1,大2,他希望者) | | | | 16 | 土 | 一般入試(Ⅱ期) | | | | 16 | 土 | | | | | | | |
| 17 | 木 | | | | | 17 | ㊤ | | | | | 17 | ㊤ | オープンキャンパス | | | | | | |
| 18 | 金 | | | | | 18 | 月 | | スキー (大2 保1・2) | | | 18 | 月 | | | | | | | |
| 19 | 土 | 大学入試センター試験 (授業あり) | | | | 19 | 火 | | | | | 19 | 火 | 卒業生がイタンス | | | | | 就職がイタンス(大4・保2・児2) | |
| 20 | ㊤ | 大学入試センター試験 | | | | 20 | 水 | 臨時教授会 | | | | 20 | 水 | 卒業式 | | | | | | |
| 21 | 月 | | | | | 21 | 木 | | | | | 21 | ㊤ | 春分の日 | | | | | | |
| 22 | 火 | | | | | 22 | 金 | | | | | 22 | 金 | | | | | | 保育実習 事後指導全体会 | |
| 23 | 水 | 補講日 研究フォーラム | | | | 23 | 土 | | スノーボード (大3・4 保1・2) | | | 23 | 土 | | | | | | | |
| 24 | 木 | | | | | 24 | ㊤ | | | | | 24 | ㊤ | | | | | | | |
| 25 | 金 | 教員採用試験 後期対策講座修了 | | | | 25 | 月 | 教師力養成講座 保育士試験対策講座 | | | | 25 | 月 | | | | | | | |
| 26 | 土 | | | | | 26 | 火 | | | | | 26 | 火 | | | | | | | |
| 27 | ㊤ | | | | | 27 | 水 | 卒業認定会議 教員免許一括申請者決定 | | | | 27 | 水 | | | | | | | |
| 28 | 月 | | | | | 28 | 木 | | | | | 28 | 木 | | | | | | | |
| 29 | 火 | 後期試験 | | | | 29 | 金 | | | | | 29 | 金 | | | | | | | |
| 30 | 水 | | | | | 30 | 土 | | | | | 30 | 土 | | | | | | | |
| 31 | 木 | | | | | 31 | ㊤ | | | | | 31 | ㊤ | | | | | | | |